

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.307



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2011年8月24日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

東日本大震災救援ボランティア

やっぱり頼りになるのは日本共産党

「地震から1～3月は支援の人たちがたくさん来てくれたけれど、今ではほとんど来なくなった。ずっと頑張ってくれてるのは共産党のあんたたちだ」と、生活物資を受け取って行ったおばちゃんが言っていました。



党石巻救援センターで仕事の打ち合わせをする
ボランティアの皆さん

18,19の2日間、党横浜市議団メンバー5人が宮城県石巻市へ震災救援ボランティアに行ってきました。

日本共産党は、各地に救援センターを設け、それぞれ数県の党委員会が責任をもって救援ボランティ

アや物資を党内外に募集し、現地に送り込んでいます。やはりこういうことができるのは、全国ネットをもっている日本共産党だけです。

私たちが行った石巻救援センターは、東京、神奈川、千葉、沖縄の各県が担当で、党組織の呼びかけで、連日ボランティアが手弁当で駆けつけています。

ブログ www.ohnuki-norio.jp/ 検索

アッ！という間に無くなった生活物資

私たち党横浜市議団のメンバーの仕事は、全国から集まってきた救援物資を仮設住宅で生活しているみなさんへ届けることです。

全国からお米、野菜、衣類をはじめ生活用品が毎日毎日届きます。救援センターの2階には物資が山積みになっています。私たちは、その物資を2階から下ろし、トラッ



仮設住宅に届ける物資をトラックに積み込むボランティア＝救援センター前



クに積み込み、仮設住宅の集会所で無料のバーザールを開き、来場者から要望をお聞きしました。また、原発ゼロ署名を集めることも任務でした。会場は満員になるくらい盛況で、アッという間に物資はなくなりました。

党石巻市議団 ”護民官”の面目躍如

現地でその先頭に立って頑張っているのが、石巻市議の三浦一敏市議団長です。石巻救援センターの責任者として連日、陣頭指揮をとっています。

日本共産党石巻市議団（3名）は、この間、党の救援ボランティアが仮設住宅や避難所などを訪問して聞き取り調査をして集めた“手すりの設置” “段差の解消” “砂利道の補修”等、さまざまな



右から3人目が三浦石巻市議団長、私はその左＝19日、渡波仮設住宅に、

要望を石巻市に伝え、改善を求め、実現させています。

啞然とする 津波の爪痕

初日の18日は、津波被害の状況を視察して回りました。湾がV字状になっている女川では、津波が3階建ビルを横倒しにしています（右の写真）。海岸沿い地域はほぼ全滅で、その惨状は目を覆うものです。

石巻では陸地奥深くに漁船等の船舶が未だに放置され、いたると



ところに瓦礫が高々と山になり、道路わきには自動車は何重にも延々と積まれています。



漁港も破壊され、いくつかの魚加工工場が廃墟のようになって、見るも無残な姿になっています。残ってる家も一階部分はメチャクチャでとても住める状況ではありません。

全く、政府は何をしているのか

私たちが18日に視察した仙台市若林区では、面積の56%が浸水し、全壊21,091棟、大規模半壊13,676棟、半壊34,153棟、一部損壊:69,823棟という被害を受けました。現地では、見渡す限りあるのはコンクリートの土台と門扉だけ。まるで、古代遺跡モヘンジョダロの町を見ているようでした。

被災者のみなさんは現在、避難所、

仮設住宅、自主避難などで苦しい生活を余儀なくされています。この生活が長く続けば続くほど、健康被害が増えます。被災者が一日も早く元の生活に戻れるようにするのが政治の責任です。それなのに政府は本格的に生活と生業の回復に乗り出そうとしていません。

被災者そっちのけで、党略的政争を繰り返している民主・自民・公明に、国民が怒りをつのらせるのは当然です。

おおのり
通信

NPO法人
青葉の樹

“流しそうめん大会”

今年もNPO法人青葉の樹の夏恒例“流しそうめん大会”に参加させていただきました。この催しは今回で16回目だそうです。

NPO青葉の樹は、人が人として障がいの有無にかかわらず、基本的人権が保障され、地域であたりまえの生活を営むことができるよう、障がい者の社会復帰、参加を促進し、障がい者福祉に関する知識の普及啓発活動を行っています。そのことを通じ、誰もが住みやすい社会の実現に寄与することを目的としています。私も会員の一人です。

“大会”には、NPO青葉の樹の活動を日頃から応援している関係者、また、いっしょに活動しているボランティアのみなさんなど



流しそうめんに舌鼓を打つ私・大貫（左から2人目）=20日、山下地域交流センター

が参加して、にぎやかに行なわれ大盛会でした。

会場は緑区の旧山下小学校（私の卒業した小学校）跡地にある緑区の山下地域交流センターで、午前11時30分から行われました。

ボランティアのみなさんが作ったかき揚げてんぷらも、とてもおいしかったです。来年もまた伺います。



ミジソコの独り言 このところ腰を痛める友人が相次いだ。命にかかわらないとはいえ、本人は相当つらそうだ。腰は、文字通りにく（偏の「月」）の要（かなめ）。スポーツ選手でも腰を痛めるのだから、鍛えれば大丈夫というものでもないらしい。本来四足歩行だったヒトが重力に逆らって二本足歩行をするから腰が痛くなる。まだまだ残暑が続くようで、くれぐれもご自愛を！（M）